

福まち かわら版

福祉のまち推進事業は、「住み慣れた地域で安心して、ずっと暮らしたい」というみんなの願いをみんなで支える事業です。

近年の社会環境、世帯状況の変化に伴い、地域における人間関係の希薄化が進み、コロナ禍を経てさらに社会的孤立が大きな問題となっています。今まで以上に身近な地域での、見守りや支え合い活動が必要になってきています。

そのため、各連合町内会単位に設置されている地区福祉のまち推進センター（以下「地区福まち」）では、住民同士の支え合い活動を広げていくために、さまざまな取り組みを行っています。

地区福まち行事 スケッチ

前号発行以降開催された各地区の行事を掲載します。（順不同）
恒例行事など様々です。ぜひお近くの行事に参加してみませんか。
問い合わせは巻末をご参照ください。



「ふれあいお楽しみ会」（東地区）



「幌西地区福まち研修会」（幌西地区）



「押し花教室」（宮の森大倉山地区）



「ストレッチ&和クササイズ
（いきいき健康セミナー）」（西創成地区）



「交通安全母の会」（桑園地区）



「秋のふれあい演芸」（苗穂地区）

中央区 サロン訪問記

中央区内のサロンでは、定期的な集いの場として、温かな交流や仲間同士の気掛け合う関係性が生まれています。今回は、西地区の「萌黄会」、桑園地区の「わくわく☆テラス そうえん」をご紹介します。（順不同）



萌黄会（西地区）



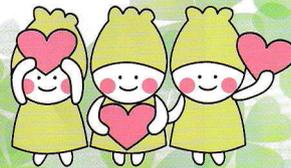
わく☆わくテラス そうえん（桑園地区）

ご報告

ボランティア講座

令和7年11月27日、中央区社会福祉協議会主催の「ボランティア講座」を開催しました。講師には、「傾聴ボランティアアクティブ17」の須甲様と秋田様をお呼びし、傾聴の技術、心構え等についてご講義いただきました。ロールプレイも行いつつ、傾聴ボランティアについて理解を深めることができました。

また、生活支援コーディネーターからは、「助け合いゲーム」を行い、皆さん和気あいあいとした雰囲気の中でゲームを楽しんでいました。



ボランティアサロン

令和7年11月10日、中央区ボランティア連絡会主催（会長：神原慶子様）の「ボランティアサロン」が開催されました。

前半では、雪印メグミルク株式会社の方より、「骨・カルシウムセミナー」が行われました。骨の健康のために普段からできること、雪印メグミルクの乳製品等を使用した体に良い食事等が紹介されました。

後半は、参加されたボランティアの方々の活動状況の報告、ボランティア活動に対する悩み等様々なことを話し合いました。短い時間でしたが、ボランティアについて自由に語り合い楽しい一時となりました。

